

燕岳山行報告書

【山城】 北アルプス南部

【日時】 12月30日～1月1日（早朝発二泊三日）

【コースタイム】 30日（晴れ）宮城ゲート8：40発～中房温泉12：45着

31日（晴れ）中房温泉6：45～燕岳頂上12：50～燕山荘13：40

1月1日（雪後晴れ）燕山荘7：40～中房温泉10：40～宮城ゲート14：20

【参加者】 田中（CL）澤田淳子（記録）

年末の渋滞を考えて、千葉を3時半出発。宮城ゲートに8時20分到着し何とか軽自動車の駐車スペースを（ギリギリ1台分）確保する。入口に長野県警の臨時のプレハブがあり計画書を出し、諸注意を受けて出発。ひたすら夏は車の通る林道を4時間歩いて、中房温泉に到着。今回は、小屋利用の楽々登山なので、荷物も心も軽い。空は青いし暖かい。憧れの中房温泉の内湯と露天に1回づづ入る。源泉かけ流しのいいお湯だ。体が温まり極楽、極楽と唱えながら布団に入り朝までぐっすり眠る。

翌朝もピーカンだ！スカイブルーとは、この青ジャンとか言いながら合戦尾根を登る。

すぐに熱くなり上着を脱ぎセーター1枚で登る。

合戦小屋でアイゼンをつけ、木々がまばらになってくると、左に小さく槍ヶ岳が見える。感激しながら振り返ると後ろには雪をかぶった富士山！見えると嬉しいNo.1とNo.5の山に田中さんも喜んで、何枚も写真を撮る。燕山荘も見えはじめもうすぐだと思うけれど、見えてからが結構長い。夏道だと右から行く小屋だが冬は左斜面から登る。



[合戦沢の頭より槍を望む]



[遥か彼方に富士を望む]



[合戦尾根上部に行く]



[sawa さん]



[平さん]

燕山荘の前にザックを置いて、空身で、頂上を目指す。頂上は、360度の白い大パノラマだ。あまりのすばらしさに周りの知らない人とも今日のお天気はラッキーでしたねと喜び合う。



〔北鎌尾根を従えた槍ヶ岳〕来てよかった。



〔燕岳山頂にて〕



〔燕山荘とザレの為、雪が付かない斜面〕

燕山荘の夕飯は、美味しいごはんと大雪溪のふるまい酒と年越しそばがでた。ストーブの前でおしゃべりした韓国人の女性が、星と夜景がきれいだよと誘いに来てくれ、いっぱい星と松本のキラキラの夜景を眺めて就寝。翌朝の初日の出は、なんと雪がちらつき見ることができなかったが、美味しいお雑煮とおせちと大雪溪に感動して下山。田中さんと昨日頂上へ行っておいてよかったねと言い合う。すぐにまた青空がでて、本日もピーカンとなる。

燕山荘の方によると今年は、10年に1回の風のない暖かい快晴だそうで、本当にラッキーだった。昨年のお正月は雪が全然なく、雷鳥が、保護色の白になっているのに小屋周りも茶色の地面で、保護色にならず雷鳥が減ってしまったとのこと。温暖化は、進んでいるのである。



[大晦日夕映えの槍ヶ岳と裏銀座の山並み]



[おせちの朝食]



[元旦の朝・サー帰ろう]

下山の中房温泉から宮城ゲートまでの林道にはちょっとうんざりしたが、猿の餌場になっているようで、たくさんの猿たちにジロジロ見られた時には、ちょっと緊張した。帰りの高速は、思ったほどの渋滞もなく帰葉。リーダーの田中さんに感謝の山行だった。

